

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
349	B-02002182	女性	87歳	150mg	酸化マグネシウム マレイン酸フルボキサミン クエン酸モサブライド プラバスタチンナトリウム ファモチジン ポラボレジンク アセトアミノフェン	幻覚	軽快	幻覚の発現状況は不明。原疾患:痴呆(高脂血症、胃潰瘍を合併)で、約3年前(1999年6月)よりアセトアミノフェン以外の併用薬剤を継続使用。
350	B-03013201	女性	87歳	150mg	塩酸プロプラノロール ジアゼパム ベンフォチアミン・B6・B12配合剤 リシノプリル プラバスタチンナトリウム	譫妄	回復	30歳台から年1回程度心身症のため受診していたほか、高血圧、高脂血症のため治療中(開始日:不明)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与開始3日後に、幻視を訴えたほか、洋服を何枚もむやみに重ねて着るなどの異常行動があった。翌日、受診時には落ち着いていた。1週間後、再診時には幻覚などの症状はなくなり、再燃はなかった。
351	B-05026235	男性	88歳	75mg	グリクラジド アスピリン・ダイアルミネート メコバラミン 非ピリン系感冒剤(4) ゲファルナート ジクロフェナクナトリウム	失神	回復	インフルエンザ発症で入院し、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目の朝に失神が発現し、約2~3分で意識が回復した。同日の夜にはインフルエンザも軽快した。
352	B-04006355	女性	89歳	150mg	塩酸ドネペジル	落ち着きのなさ	回復	老年痴呆、骨粗鬆症、背部痛、骨関節炎で塩酸ドネペジルを投与されていた。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日が投与され、翌日にはほぼ解熱。投与3日目の夜、家が火事になった等の幻覚が発現。不穏状態が発現し持続するため、本剤の投与を中止。翌日には次第に不穏状態が軽快し、投与中止5日後には全く以前のとおりとなった。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
353	B-04026971	男性	92歳	150→ 225mg	塩酸チアラミド トロキシピド ニフェジピン アロプリノール アスピリン フロセミド ニコランジル 一硝酸イソソルビド 酒石酸メプロロール ファモチジン レバミピド ニトログリセリン 耐性乳酸菌配合剤(1)	ミオクローヌス	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、コンプライアンス上の問題あり(2~3カプセルを服用と推測)。同日深夜、不規則な振戦様の不随意運動出現。翌日も脱水著明、顔・体幹・四肢の不随意運動改善せず。リン酸オセルタミビルの服用中止。更にその翌日も、不随意運動改善せず、全身のミオクローヌス様不随意運動と診断、入院。有害事象発現後6日目回復、退院。
354	B-01012005	女性	95歳	150mg	テオフィリン ランソプラゾール メクロプラミド ゾピクロン カルボシステイン センノシッド セラペプターゼ レボフロキサシン	幻覚	回復	発熱(39°C)、腰痛発現。(CRP4+)のため、クラビット処方。翌日、インフルエンザ疑いため、リン酸オセルタミビル処方。処方5日後、幻覚(幻視:木が倒れてくる。幻聴:ハチの発ぶ音)発現。本剤投与中止。翌日、幻覚軽快。投与中止3日後、幻覚完全回復
355	B-07000074	女性	小児	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。しゃべりまわっていた。
356	B-07006907	不明	成人	不明		嗅覚錯誤	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嗅覚障害発現。
357	B-06000632	女性	0	不明		痙攣	不明	詳細不明
358	B-01002841	男性	不明	不明	ジクロフェナクナトリウム 塩酸ホミノベン	振戦	不明	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビル投与を開始。投与後1~2日後、冷感、ふるえ、高熱のため他院に移送。転帰不明
359	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処方。服用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
360	B-07002665	男性	不明	78 mg	ヒベンス酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜半、意識が朦朧となる。呼びかけてもはっきりせず家族が「異常行動か?」と考え、本剤服薬中止させたところ、意識回復。
361	B-07003019	女性	不明	36 mg	ヒベンス酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザにて、リン酸オセルタミビル服用開始。朝、夜本剤服用。体温：39℃。 投与開始2日目、朝、夜、本剤服用。寝ている時、痙攣の様にピクピクする。 投与開始3日目、熱が下がったので本剤を自己中止する。その後、痙攣は出ていない。